

## 清方描く四季 特別展—季節の再来—

「朝夕安居」や「一葉女史の墓」など、今日において忘れかけている季節感あふれる作品を展示した。

**会期** 平成17年9月13日(火)～平成17年11月23日(水・祝)(開館日数:58日)

**総入館者数** 6,299人(一日平均:108人)

### 関連事業

【講演会】『樋口一葉と鏗木清方』

【講師】佐藤晃子(台東区立一葉記念館専門員)

【日時】平成17年10月24日(月)10:00～12:00



### 出品作品

「涼風」	大正元年	紙本墨画淡彩	軸	125.1×30.3	奈良県立美術館
「夕立」	大正元年	絹本着色	軸	100.0×26.5	古川美術館
「砧」	昭和30年	紙本着色	額	56.6×47.3	個人
「春駒」	制作年不詳	紙本着色	軸	58.5×42.5	古川美術館
「水辺美人図」	制作年不詳	絹本着色	額	42.0×51.7	古川美術館

【前期】平成17年9月13日(火)～平成17年10月16日(日)

「浅みどり」「嫁ぐ人」「ゆあみ」「襟おしろい」「虫の音」「朝夕安居 朝・昼・夕」「ゆかた」

「女役者衆八」「柳の下に涼む娘」「注文帖(全13図)」

口絵:「白波女(小栗風葉著『白浪女』)」「浮世車(『浮世車』)」「浮舟(村上浪六著『浮舟』)」

「夜長(『文藝倶楽部』)」「いで湯の夕べ(『文藝倶楽部』)」「こすもす(『文藝倶楽部』)」

下絵:「十一月の雨」「榊神社奉納額」「少年」「蜷」「築地川界限」

表紙絵(『苦楽』):「神田祭」「錦繡の秋」「ふた昔」「紅梅屋敷」「高野聖」

「栗(スケッチ)」「柘榴(スケッチ)」「龍膽(スケッチ)」

【後期】平成17年10月22日(土)～平成17年11月23日(水)

「螢」 昭和初期 紙本淡彩 軸 44.3×51.0 富士美術館

「美人四季 新春の粧(春)」 昭和25年 絹本着色 軸 56.5×54.0 富士美術館

「美人四季 山百合(夏)」 昭和25年 絹本着色 軸 56.5×55.0 富士美術館

「美人四季 芳宜の細道(秋)」 昭和25年 絹本着色 軸 56.5×56.0 富士美術館

「美人四季 燈下の読書(冬)」 昭和25年 絹本着色 軸 56.5×57.0 富士美術館

「栗をむく娘」「一葉女史の墓」「秋宵」「深沙大王」「教誨」「金色夜叉の絵看板」「曲亭馬琴」

口絵:「旗すゝき(小栗風葉著『旗すゝき』)」「忘れがたみ(小栗風葉著『忘れがたみ』)」

「あさ露(『文藝倶楽部』)」「卯花緘(小栗風葉著『卯花緘』)」「賣花娘(菊池幽芳著『賣花娘』)」

「筆子 初枝の巻(菊池幽芳著『筆子 初枝の巻』)」「ゆふ暮(『文藝倶楽部』)」

「八幡鐘(『文藝倶楽部』)」「白魚(『文藝倶楽部』)」「ふともし頃(『文藝倶楽部』)」

「たけくらべの美登利(下絵)」「初雁の御歌(小下絵)」

「金色夜叉繪巻(尾崎紅葉著『金色夜叉繪巻』)」

### 関連記事

平成17年 9月 1日 特別展 清方描く四季—季節の再来—(江ノ電沿線新聞)

平成17年 9月15日 特別展 清方描く四季「季節の再来」(広報かまくら)

平成17年 9月15日 入館者20万人突破(神奈川新聞)

平成17年10月 1日・15日/11月1日 清方描く四季～特別展「季節の再来」(広報かまくら)

平成17年11月 2日 鏗木清方記念美術館 特別展「季節の再来」(鎌倉朝日)

## 清方描く四季－秋冬－

末枯れの朝顔を描いた「築地明石町(下絵)」など、秋から冬の季節の移りかわりに材をとった作品を中心に構成した。

**会期** 平成17年11月27日(日)～平成17年12月18日(日)(開館日数:19日)

**総入館者数** 1,367人(一日平均:71人)

### 出品作品

「寒月」「孤児院」「二人静」「子供二人」「菊慈童」「築地明石町の船・詞」

口絵:「祝ひ月(東京風俗)(『新小説』)」「よき事きく(『文藝俱樂部』)」

「伽羅(『文藝俱樂部』)」「小春(『文藝俱樂部』)」

「勝鬨(渡邊霞亭著『勝鬨』)」「旅愁(「清方畫譜の十」(『講談雑誌』))」

「朝寒(「清方畫譜の十一」(『講談雑誌』))」

「炬燵(「清方畫譜の十二」(『講談雑誌』))」「楽しき贈り物」「初雪」

下絵:「築地明石町」「新富町」「瀧野川観楓」「鷺娘」「雪旦」「蕪」「朝夕安居 朝」

表紙絵:「クリスマス(『少女界』)」「婦人之友(9月號)」「婦人の友(11月號)」「婦人の友(12月號)」

『苦樂(10月號)』『苦樂(11月號)』『東京 築地川(『画集 東京と大阪』)」

### 関連記事

平成17年11月15日/12月1日 収蔵品展「清方描く四季～秋冬」(広報かまくら)

平成17年12月 2日 鑄木清方記念美術館 清方描く四季「秋冬」(鎌倉朝日)



リーフレット

## 正月特別展《新春》

清方の「明治風俗十二ヶ月」を意匠化した永井周山の押絵羽子板など新春の風情を展示した。

**会期** 平成18年1月4日(水)～平成18年2月5日(日)(開館日数:29日)

**総入館者数** 2,906人(一日平均:100人)

### 出品作品

「初冬の雨」 大正元年頃 絹本着色 軸 115.0×42.0

「銀世界」 大正13年 紙本着色 軸 130.5×44.

「春の女客」 大正14年 絹本着色 軸 129.0×41.0

以上3点福富太郎コレクション

「春雪」 昭和21年 絹本着色 軸 167.0×87.4 個人

「白梅」「大和路の或る家」「明治風俗十二ヶ月(押絵羽子板 永井周山作)」

口絵:「都大路(『文藝界』)」「春を待つ(『文藝俱樂部』)」「端香(百花百姿)(『新小説』)」

「鸚鵡(『文藝俱樂部』)」「餅むしろ(『文藝俱樂部』)」「看梅(『少女界』)」

「渦巻(渡邊霞亭著『渦巻』)」「小ゆき(菊池幽芳著『小ゆき』)」「初東風」

表紙絵:「きさらぎ(『少女界』2月號)」「きさらぎ(『苦樂』2月號)」「雪(『苦樂』12月號)」

「西鶴のお七(『苦樂』新年特大號)」

「軍国をんな雙六(『文藝俱樂部』附録)」

### 関連記事

平成18年1月 1日 正月特別展《新春》1月4日～2月5日(広報かまくら)

平成18年1月 1日 鑄木清方記念美術館 清方描く四季 特別展「新春」(鎌倉朝日)

平成18年1月 9日 出かけてみませんか 鑄木清方記念美術館 正月特別展《新春》(たまなわ新聞)

平成18年1月12日 正月特別展「新春」(朝日新聞・夕刊)

平成18年2月 1日 鑄木清方記念美術館 正月特別展～清方描く四季「新春」(広報かまくら)

